

V 地域社会への貢献

雑誌名	鹿児島大学農学部農場年報
巻	2
ページ	47-49
発行年	2006
URL	http://hdl.handle.net/10232/20983

V 地域社会への貢献

農場では、地域住民を対象とした市民農業講座を開催するとともに、農業技術研究会を立ち上げて、農場で開発した技術の移転を進めている。また、幼稚園児、小学生を対象とした食育に取り組み、さらに地域住民に施設を解放し、また農場実習の副産物を定期的に販売するなど、様々な形で市民との交流を図っている。

1 農業技術の啓発

1) 市民農業講座

地域住民を対象に、毎年4月上旬に開催される展示即売会にあわせ、農業に係わる今日的な話題をわかり易く解説した公開講座を開催している。平成18年度は第39回市民農業講座として以下の講座を開講した。

講座名：「果樹の増やし方 - 接ぎ木、挿し木、取り木 -」

講師：鹿児島大学農学部附属農場唐湊果樹園技術職員 野村哲也・中野八伯・寺本玲香

2) 指宿熱帯果樹研究会

指宿植物試験場では、熱帯果樹栽培の振興を目的として、指宿熱帯果樹研究会を定期的に開催している。

対象：生産者（20名）

開催回数および時期：年4回（6月23日、11月15日、1月27日、3月17日）

3) 自営を目指す青年への実習教育

入来牧場では、自営を目指す鹿児島県農業大学校生に対して、大規模牧場での家畜管理法および飼料栽培法の実習教育を実施した。

人数：2名

時期：4月18日～6月30日

2 地域活動に対する支援

1) グリーンフェスタいぶすき

指宿植物試験場主任の遠城道雄助教授が「グリーンフェスタいぶすき」の実行委員に就任し、会発展のための助言を行っている。また、開催前日の植物品評会の審査委員長を務め、審査を行っている。

2) 特定非営利活動法人「奄美ゆいの郷」

指宿植物試験場主任の遠城道雄助教授が「奄美ゆいの郷」の理事に就任し（平成18年2月16日～平成19年5月31日）、会の事業である高齢者、身障者、健常者がともに、ゆいの心で助け合える住みよい癒しのまちづくりとスローフード、スローライフの普及活動に参画している。

3) 八重山高原星物語

入来牧場主任の伊村嘉美助手が「八重山高原星物語」の実行委員に就任し、会発展のための助言を行っている。

3 食育と環境教育の取り組み

子供達の食の乱れの是正や自然への渴望を満たすために、技術職員を中心に下記のような食育の取り組みをしている。

1) 自然とのかかわりから生まれる活動（学内農場農事部）

対象：鹿児島大学教育学部附属小学校，5年生，156名

時期：5月～10月

内容：水稻の播種から稲刈りまでを体験させ、主食である米がどのようにしてつくられるかを学ぶとともに、働くことと食物への感謝の気持ちを醸成させる。5月に播種，6月に田植え，7月に草取り，10月に稲刈りを行う。

2) お芋ができるまで（学内農場農事部）

対象：めぐみ幼稚園，園児，50名

時期：5月：芋植え，11月：芋掘り

内容：自然とかけ離れた環境で育った園児に、土にまみれてサツマイモを育てることを介して、自然と食に興

味を持つようにする。5月にサツマイモの苗植え、11月に収穫を行う。

3) 昆虫たちの生活をみる(唐湊果樹園)

対象: 中郡小学生, 128名

時期: 7月4日

内容: 教科書に出てくる昆虫の実物を観察させ、理科教育の効果を高める。

4) ミカンのふるさと(唐湊果樹園)

対象: 鹿児島大学教育学部附属幼稚園, 園児, 70名

時期: 11月2日

内容: 店頭に並ぶミカンが樹になることを学ばせ、食べ物の不思議さを理解させるために、ミカン狩りを行う。

4 施設の公開

周辺住民の散策場所として、農場を常時解放するとともに、自治体や団体等が開催するイベントに対して、要請があれば積極的に施設の開放を行っている。

1) 農場へようこそ(学内農場農事部, 唐湊果樹園)

対象: 一般市民

時期: 随時

内容: 鹿児島市内に位置する学内農場農事部と唐湊果樹園は、農場見学、俳句読み、植物採集、写真撮影、散策など、都市に浮かぶオアシスとして市民の人気スポットである。農場としては、癒しの空間として農場を整備し、市民に開放するとともに、来場者に対して農場施設の役割を啓発する。

2) 八重山高原星物語2006(入来牧場)

対象: 一般市民

時期: 8月5日 9時~21時

内容: 薩摩川内市主催のイベント(VERA 施設公開, 望遠鏡施設公開, 親子科学実験もの作り, 入来牧場施設公開, リバースクール「水辺で遊ぼう」, 特産品出店など)

3) ファミリーハイキング(入来牧場)

対象: 一般市民, 600名

時期: 8月

内容: 薩摩川内市が主催する健康増進活動の一つであるハイキング行事のコースとして入来牧場を解放している。来場される市民に畜産に関する知識の啓発を行い、施設の意義を知らしめる。

5 生産物の販売

学生実習に伴って産出される農産物の有効利用を図る観点から、生産物の展示即売会を下記のような日程で開催している。

1) 農場4施設合同の展示即売会

対象: 一般市民, 約3,000~3,500名

時期: 4月4日(水)~5日(木) 9時~16時

場所: 学内農場の一角にテント張りの特設会場を設営して開催

内容: 実習で生産した米, 野菜, 苗物, 花卉, 観葉植物, 果物, 牛肉, 豚肉など約200品目20,000点を農場職員と学生が一体となって開催する展示販売会である。

2) 農場4施設合同の定期販売会

対象: 一般市民

時期: 毎月, 第2週と第4週の水曜日の昼休み時に開催

場所: 学内農場販売所

内容: 実習で生産した米, 野菜, 苗物, 花卉, 観葉植物, 果物, 牛肉, 豚肉などを販売する。

3) 施設毎の定期即売会

(1) 唐湊果樹園

対象：一般市民

時期：毎月、第2週と第4週の水曜日の昼休み時に開催

場所：唐湊果樹園

内容：実習で生産した果物を販売する。

(2) 指宿植物試験場

対象：一般市民

時期：毎週月曜日の昼休み時に開催

場所：指宿植物試験場

内容：実習で生産した熱帯果実、観葉植物などを販売する。

6 農場施設の見学・視察研修

1) 唐湊果樹園

11月8日 あらた同窓会（昭和20年度農学部卒業生）（40名）

1月23日 谷山農協ブルーベリー視察（25名）

2) 指宿植物試験場

8月8日 特産果樹の栽培方法及び品種特性に関する研修（10名）

10月6日 中学生による職業人インタビュー訪問（4名）

1月26日 南大隅町果樹花卉への取り組み研修（20名）

3) 入来牧場

5月13日 入来町の幼稚園児見学（30名）

6月10日 湧水町より視察研修

6月11日 種子島より養豚に関する視察研修（3名）

8月29日 九州地域農場協議会技術職員研修

9月15日 出水市より視察研修（30名）

11月1日 熊本県鹿本町より視察

11月2日 大崎町より視察研修（10名）

11月14日 国土交通省川内事務所より視察研修（3名）

11月17日 ユーカリ学園生見学（20名）

1月26日 錦江町より視察研修（30名）

2月8日 大崎町より視察研修（14名）

2月17日 市来農芸高校生視察研修（40名）

2月20日 加世田常潤高校教職員視察研修（2名）

3月13日 宮崎大学住吉フィールドより視察研修（3名）

3月13日 熊本県城南町より視察研修（10名）